

## 退任のご挨拶

春暖の候、皆様方にはコロナ禍にあっても益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私事で誠に恐縮ですが、この3月末をもって理事長職を退任させていただくことになりました。

当協会設立以来、皆様方には、一方ならぬご支援・ご鞭撻をいただいたことに対し、心からの感謝と御礼を申し上げる次第です。

お陰様で、在任期間を通して延べ十数万人の方々に検定試験を受験していただき、またそうした皆様が各々の健全な食生活やお仕事に貢献されてこられたことは、誠にありがたく思っているところです。

協会のこれまでの歩みは、消費者庁の創設、食品表示一元化の検討、食品表示法及び食品表示基準の制定・施行、第3期消費者基本計画に基づく加工食品の原料原産地表示等「積み残し課題」の検討といった総じて食品表示の一元化という新制度移行のステージでした。

今後は、新たな基本計画に基づく「分かりやすい表示」やインターネット活用などウェブによる情報提供と表示との組み合わせに関する検討の方向性が示されており、「表示」から「情報」という新たなステージに入ろうとしています。

協会も、こうした時代の変化に的確に対応して、現行検定試験制度の改善や諸事業など新たな展開を図っていくことと思います。

皆様方には今後とも協会の発展のために引き続きのご支援をお願い申し上げます。

食品表示は食品の提供サイドと消費サイドを結ぶ信頼の絆でもあります。食品表示関連の法令は今後も変わってくると思いますが、法令の方を見る前に、まずは消費者として何が知りたいか、事業者として消費者に何を、かつどうしたら分かりやすく伝えたいかという表示の機能の原点に立つことが大切だと思っています。

最後に、皆様方の今後のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人食品表示検定協会 前理事長  
池戸 重信